

広島労働局長 年末安全パトロールを実施

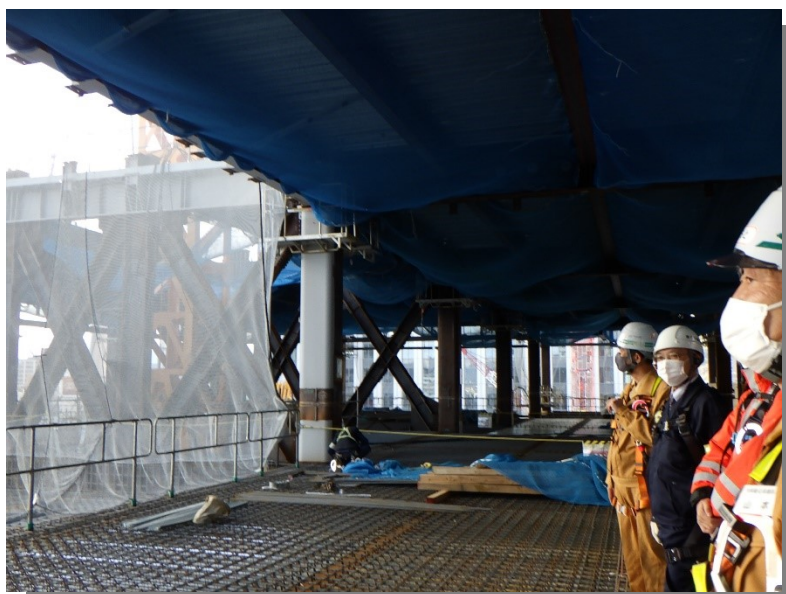
広島労働局では、令和4年12月2日に建設業労働災害防止協会広島県支部と合同で、「広島駅南口ビル新築他工事」（広島市南区）において、年末安全パトロールを実施しました。



パトロールの冒頭、阿部労働局長から、県内の死亡災害が今年倍増したことを受け、12月1日に発令した「死亡災害多発警報」について説明があり、死亡災害撲滅に向けて、重篤な災害に繋がる「墜落災害」防止等に対する基本的な安全対策の徹底について、呼びかけが行われました。



現場では、開口部周囲への手すりの設置や落下防止用ネットの確実な取付け、転倒災害防止のために段差に注意喚起テープを貼り、危険の見える化を図る等、様々な好事例の取組が行われていました。



パトロール終了後には講評が行われ、広島労働局健康安全課長から、気ぜわしい年末においても、ゆとりある工程・安全管理を心掛けて、無災害による工事完成をお願いしました。

